

ごんきや「終活カウンセラー」遠藤清子の

生き活きと

終活教室



終活カウンセラー 遠藤清子

七ヶ浜に嫁いできて、ごんきやに入社。以来21年、家族に寄り添うことを大切に、葬儀の仕事に従事。大震災を経て、皆様には後悔してほしくないと思われ、終活への想いを深め、セミナーにも心を注いでいる。

今回は「家族葬」について(株)ごんきや代表取締役社長 佐藤さんと終活カウンセラー 遠藤さんにお話を伺っています。

「この頃は「家族葬」という言葉をよく耳にしますか。」

佐藤 1990年代、葬祭業者が少なくなった言葉なのですが、それがまたたぐ間に広がりました。

どんなお葬式かといえば、文字通り、身内だけで故人をお送りするので、一番の違いは、友人やご近所の人をお招きしないというもの。こ

第5回 テーマ

家族葬って、本当はどういうもの？

が、採め事のない、悔いのない見送りにつながります。

「終活をして、家族葬とした場合、どんな良い面がありますか。」

佐藤 世間体を気にせず、よりこだわりあるお葬式ができます。例えば、桜が好きだった故人を想い、飾りも音楽にも桜をちりばめたり。また、場所を選ばず。会館、ご自宅、もちろんマンションでも、広くなくても大丈夫です。

一方で、故人が人とのつながりが多い場合、家族葬と告別式(例・社葬)

人まりとした式なので、経済的な面でも、葬儀費用もさることながら、他者に経済的なご迷惑をかけることになりません。

遠藤 家族葬が生まれる以前、バブル期にはお葬式も規模が大きくなり、故人とは生前の面識もないにお付き合いで参列する、といったケースもありましたから。

佐藤 そういう意味では過度に儀礼的になってきたのが、本来の形に戻ってきたのが家族葬といえるかもしれません。最後のお別れをこころゆくまでできる。そうした(できる)ことの反面、

「できない」こともあり、例えば、知らせることができないため、あとで知った方々の弔問が週末ごとに続くなど、考えていなかった対応が必要となったりもします。後々の対応も覚悟した上で、家族葬の選択が望ましいでしょう。

遠藤 どうしても、故人に送られる側と、身内を送る側にはギャップがあります。それを埋めるためにも終活は大切だと思いますね。終活とはご本人だけの意見で決めるものではありません。家族で話し合っ、例えば、お葬式に通知する人や本人の希望なども確認し、家族共通の理解にしておくことを別々に行うということもできるわけですね。

佐藤 場所を選ばないということでは、終活セミナーも同様です。先日も出張セミナーで、各経済団体様の定例会や証券会社さんへ赴きました。

佐藤 そうした場で強調しているのは、元気なうちに話し合っておくことの大切さです。いざという際に柔軟に対応でき、より良い見送りができることになります。

◎次号予告
「もしも」に備えること



右：ごんきや8代目社長に就任した佐藤知樹さん、左：終活カウンセラーの遠藤さん

終活セミナーのご案内

日時：5月23日(月) 午前10時より
場所：セレモニア長命ヶ丘 榊会館
仙台市泉区長命ヶ丘3-30-15

日時：6月20日(月) 午前10時より
場所：セレモニア南光台 榊会館
仙台市泉区南光台南1-3-1

セミナーに関するお問い合わせ (株)ごんきや多賀城支店 TEL.022-366-5151(遠藤)

※終活セミナーは一人様でもグループ様でもお申込みいただけます。出張開催もしておりますので、お気軽にお問合せください。

1815年創業
葬祭・仏壇・仏具・神具・生花・花環・墓石

株式会社 **ごんきや**®

塩釜本社：〒985-0043 宮城県塩釜市袖野町田24-2
仙台本社：〒980-0022 宮城県仙台市青葉区五橋2-8-14

0120-365-554